

# 竹の子川柳会

エコぶくろ忘れてしまふと意味がない

中二 宮川 直輝

ふくろにはいろんな物が入るんだ

小五 清原 瑠依

リスはあきホッペのふくろにエサためる

小一 池内 麗羽

さんたさんおおきなふくろおもそうだ

小三 淵本ななみ

血がでたよこけたら痛い歩けない

小六 清原 沙耶

持久走腹の痛さも我慢する

高一 山口 悠季

痛みより不安をおおる歯科の音

高二 濱松 和希

あのとときの心のきずはまだいたい

高三 渋谷 尚紀

痛い目にあつてその子のおもい知る

高一 井上あんな

はじめての事に挑戦していこう

高二 榎 晋平

はじめてのがくげいかいでげきをする

小一 山田 清也

年はじめ気持ちさきりかえ頑張るぞ

高二 清原 彩香

年初め目標立てて努力する

中三 山口はると

何事もはじめが大事大切に

高三 鳥生 祐衣

大合併聖域なくて泣きつ面

熊本 忠真

パソコンの聖域菌が忍び込み

栗木 一郎

現役を退き世話もしてますされてます

若宮 賢敬

八十才未だ現役で農達者

渡辺 照子

現役を退いた顧問の口が過ぎ

宮川 柳水

燃え尽きるまで現役の恋の花

渡辺 光男

口と酒まだ現役と言う米寿

山本 雅之

新年の決意禁煙また誓う

金子すすむ

新年に誓いも新た六十路

松本 立子

新年の夢が輝やく老いの坂

米子 達雄

新年の誓い破つてまた誓い

男武志津江

悪徳な課税一揆のむしろ旗

宇津本アヤ子

一度でいい長者番付出たかった

川添 忠昭

# ひよし川柳会

## 鬼北の足跡を辿る…【第6回】

### 節安花とび踊り

父野川上・節安地区にある薬師堂では、毎年旧暦1月16日、町指定無形民俗文化財「花とび踊り」が奉納されます。この踊りは、白刃の太刀をかざして踊る勇壮な踊りで、戦国時代、長曾我部元親が宇和郡を侵略した頃、土佐の「太刀踊り」が転化し、この地方に伝わったものと言われています。

伝説によれば、戦国時代、高貴な身分の落人が、難産のため苦しんでいるのを救うため、長曾我部の武士たちと地元の農民が「花とび踊り」を踊り、節安のお薬師様に安産を祈願。女性は女兒を出産しましたが、産後の病で母子ともに亡くなりました。地元の人たちは

手厚く弔って、お薬師様の並びに母子地蔵を作り、その霊を祭りしました。これを「おたまや」と呼んでいます。

花とび踊りは、この頃から踊り継がれていると言われ、はち巻き、たすき、わらじばきで真剣を振りかざし、打ち鳴らす太鼓や鐘に合わせて踊るさまは、勇壮な中に柔軟さがあり、古い舞踊として高く評価されています。

現在は、旧暦1月16日に近い日曜日に、節安花とび踊り保存会(会員28人)によって、お薬師様の境内で安産や家内安全を祈願し、花とび踊りが奉納されています。



勇壮な踊りを披露する「花とび踊り保存会」会員ら。その動作一つ一つに願いを込める